ロボットアシストウォーカー

RT.1

取扱説明書



もくじ

はじめに	
ご使用の前にお読みください	4
本機を末永くご愛用いただくために	
この「取扱説明書」について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
付属品の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
安全上のご注意	
ご使用いただく前にかならずお読みください	6
絵表示について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
本機ご使用時の注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
交通ルールと基本マナー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
その他注意事項	18
使用上のご注意	18
ロボットアシストウォーカーについて	
	20
本機の機能と特徴······	20
各部名称とはたらき	20
本体前面 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	20
本体後面 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	21 21
操作パネル/ハンドルについて	22
操作パネルでできること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22
表示部 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
操作ボタン ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22
スピーカー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 22
ハンドルのはたらき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	23 23
**** A. I. I. I.	23
充電のしかた	
使用前のご準備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	24
バッテリーパックの充電について	24
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
バッテリーパックを本機から外す・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
バッテリーパックを充電する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 24
	. 25
ご使用の前に	
本機の構造について	26
車体の構造を理解する	26
休憩用いすを取り外す・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
休憩用いすを取り付ける・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	27
上体を起こす(ハンドルを立てる)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	28
杖ホルダーに杖を差し込む・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	28
本機を折りたたむ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	29
本機を保管する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	30
ハンドルの高さを調即する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	31 32
年 (後) と	33
本機を終了する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	33

本機の使いかた

操作のしかた	34
本機に歩行支援させる	34
歩行する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	34
平らな地面を歩行する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
傾斜地での歩行について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	35
上りの坂道で歩行する · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
歩行支援をもっと活用する	36
砂利道などの歩行・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	36
段差を乗り越える・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	36
設定モードについて	37
簡易設定モード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	37
詳細設定モード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	37
簡易設定	38
準備······	38
簡易アシスト設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
簡易ブレーキ設定 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
詳細設定	40
準備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	40
詳細自動設定 ·····	
片手判定設定 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
工場出荷復帰 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
詳細自動変更モード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	. 44
片手判定変更モード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· · 44
工場出荷変更モード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
音声案内	46
通常の音声案内について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	46
通信機能利用時の百戸条内に JVV (・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	46 46
警告音と異常をお知らせする音声案内について······	
異常が発生したときの音声案内と対応について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	47
音声案内を消すには ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 47
困ったときは	
	48
重大な異常が発生したときの対処・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	48
異常確認時のポイント	49
故障かな?と思ったら・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	49
定期的に点検する	50
点検について	50 50
使用前の点候と定期点候に	
お手入れについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
参考資料	
仕様	52
製品本体 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	52
ハッテリーハック/允電器 ····································	53
アクセサリー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	53
ロボットアシストウォーカー RT.1 のアシスト制御設定機能 · · · · · · · · · · · · · · ·	表紙

ご使用の前にお読みください

本機を末永くご愛用いただくために

このたびは「ロボットアシストウォーカー RT.1」をご購入いただき、まことにありがとうございます。

本製品は、ご自身で歩行できる高齢者がより安定して歩行できるように、補助的にご使用いただくための歩行補助器具です。

歩行において、手すりなど固定されたものに掴まる必要のある方や、常時介助者の介助が必要な 方のご使用はおすすめいたしません。

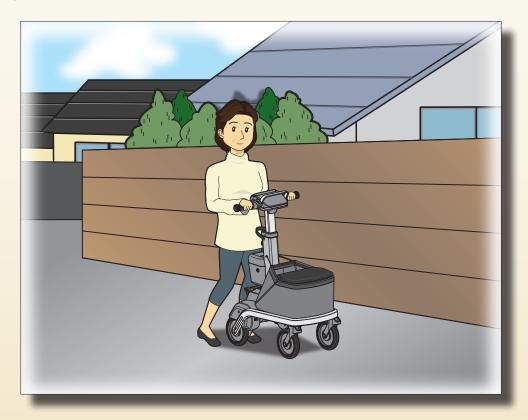
ご使用に適しているかどうかご不明な場合は、福祉用具専門相談員や作業療法士、理学療法士などにあらかじめご相談ください。

❖ この「取扱説明書」について

本書では、ご使用の際にかならず守っていただきたい「安全上のご注意」、「正しい使用方法」、お客様ご自身で可能な「点検」に関する項目を中心に説明しています。

ご使用の前に、かならず本書をよくお読みになり、内容を習熟し、安全なご使用を心がけてください。 また、介助者がいらっしゃる場合は、その方にも本書をよくお読みいただき、ご使用上の注意など について十分ご理解いただいてください。

お読みになった後は、本書を携行いただくか、いつでも手に取れる場所に保管いただき、ご使用中に分からないことや不都合が生じたときは、本書の内容をすぐにご参照いただきますようお願いいたします。もし、ご不明な点がございましたら、裏表紙に記載のRT.ワークス サポートセンターまでご相談ください。



ご注意

・本書の内容・イラストがお手元の製品と一部異なることがあります。あらかじめご了承ください。

❖ 付属品の確認

この製品には、以下の付属品が同梱されています。

• 付属品に欠品があるときは、購入された販売店もしくは、RT.ワークス サポートセンターまでご連絡ください。



• 取扱説明書(本書)

- 取扱説明書:おさんぽケアサービス編 (ネットワーク機能対応品のみ)
- 保証書兼ネットワーク認証IDのご案内

ご注意

- ・杖ホルダー用バンドおよび休憩用いすは、工場出荷時に装着されています。
- ・ バッテリー盗難防止カギは、紛失時の予備用を含めて 2 本付属しています。 予備用のカギは、絶対になくさないよう大切に保管してください。
- ・本機を用いて外出歩行するときは、付属のカギ用ストラップを利用するなどして、バッテリー盗難防止カギを携行してください。
- バッテリーパックを追加でご購入されたい場合やバッテリー盗難防止カギを紛失された場合は、裏表紙に記載のRT.ワークス サポートセンターまでお問い合わせください。
- ・製造元が推奨しているオプション品以外のものを本機に取り付けるなど、お客様の改造により道交法施行規則基準を超えた場合は、「歩行者」としてみなされません。
- ・本機を公共交通機関の車内や船内、機内に持ち込めるかどうかは、各公共交通機関の規定に準拠します。 ご乗車やご乗船、ご搭乗される前にかならず係員までお尋ねください。

リチウムイオンバッテリーリサイクルご協力のお願い



不要になったリチウムイオンバッテリーは、貴重な資源を守るため、破棄しないで裏表紙に記載のRT.ワークス サポートセンターへご相談ください。

•

(リチウムイオンバッテリー輸入元:(株)ルネサスイーストン)

安全上のご注意

ご使用いただく前にかならずお読みください

この製品を正しく安全にお使いいただくために、次の事項に注意してください。

❖ 絵表示について

この「取扱説明書」では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

▲ 警告

誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く 可能性があるもの

🛕 注 意

誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結び付く 可能性があるもの

本機は電源を入れたあと、安全のため機器に異常がないか自己診断を実行します。 電源ランプが点滅している間(約2秒間)は、本機を押し進めないようにしてください。

❖ 本機ご使用時の注意事項

ご使用前に、以下の事項をよくお読みになり、かならずお守りください。

▲ 警告

本製品の用途を正しく理解する

- ・本製品は乗り物ではありません。荷物収納バスケットの上に乗ったり、ペットなど生体の運搬には使用しないでください。
- ・他の物の牽引はしないでください。
- ・遊具として使用するなど、歩行以外の用途に使用しないでください。



本機の電源が「切」のときやバッテリー残量がないとき、バッテリーパックが本機に挿入されていないときは、絶対に坂道を歩行しない

バッテリーから電源が供給されていないと坂道において内蔵ブレーキが効かず、転倒や衝突などによる重大な事故につながる恐れがあります。

▲ 警告



本機を無理な速度で押し歩かない

本機は歩行補助器具です。走ったり、無理な速度(6km/hを超えて)で押したり、無理な操作はしないでください。



左図のような傾斜面(傾斜10°以上)では使用しない

・無理に通行すると、転倒する恐れがあります。また、傾斜10°以内の傾斜面でも、坂の下側にハンドルが取られやすくなります。両手でしっかりとハンドルを握って操作してください。



急な坂道(傾斜10°以上)では使用しない

・無理に通行すると、転倒する恐れがあります。また、傾斜10°以内の坂道でも 斜めに通行はせず、まっすぐ歩行してください。方向転換による急ハンドル は避けてください。



大きな段差は乗り越えない

・無理に通行すると、転倒する恐れがあります。低い段差でも、段差の前でかならず一旦停止してください。その後、両手でしっかりとハンドルを握り、段差用ステップを踏んで本機の前方を少し浮かしながら、十分注意してゆっくりと直角に乗り越えてください。



大きな幅がある深い溝は乗り越えない

・無理に通行すると、転倒したり動けなくなる場合があります。幅が狭い溝の場合でも、タイヤを溝に取られないように注意し、両手でしっかりとハンドルを握りながら、ゆっくりと直角に乗り越えてください。



段差を乗り越えるときなどに前輪を浮かしたまま歩行しない

・ 前輪を浮かしたまま歩行しますと、安全のため注意喚起の音声が鳴りアシスト機能を一時的に中断します。段差乗り越えなどで前輪を上げた際は、乗り越え後速やかに前輪を地面に下ろしてください。(警告メッセージはそのまま歩くか、電源ボタンを押す事で解除できます)

安全上のご注意(つづき)



アシストカ、ブレーキカ、速度制限が心身機能に合っているか、試運転等に よりかならず確認してから使用する

・意図しない本機の動作により、バランスを崩して転倒する恐れがあります。



駅のホームや人混みの中で使用するときは、周囲に十分な空間が確保され ているか確認する

通行人に衝突してケガを負わせたり、転倒または本機ごとホームに落下する 恐れがあります。



以下の場所や状況での歩行は回避するか、介助者に同行してもらう

- 交通量の多い道路
- 道幅の広い横断歩道
- 踏切
- 砂利道
- 狭い道
- 防止柵の無い側溝
- 路肩付近
- 夜間 雨降り

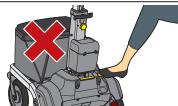
- 凍結路 • 濃霧時
- 強風時
- ぬかるみ

など



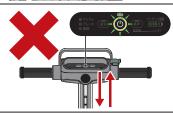
異常などを検知し電動駐車ブレーキが自動でロックされた場合に、手動で本 機を押し進めるときは、主電源を「切」にし、ロックを解除してから押し進める

- 本機のバッテリーがなくなったり、故障したり異常を検出した場合、電動駐 車ブレーキが自動でロックされます。本機の主電源を「切」にし、電動駐車ブ レーキのロックを解除して、安全なところまで押し進めてください。
- 本機は電源がオフの状態では安全のため車輪にブレーキがかかり重たくなる ように設計されています。電源がオフのまま長距離歩行いただくことは困難で すので、お出かけ前にバッテリー残量が十分であることを確認してください。



駐車ブレーキロックは手で解除する(足で踏まない)

無理な姿勢となり転倒する恐れがあり危険です。また、駐車ブレーキに大き な力が加わり破損する恐れがあります。



電源が「入」の状態で、高さ調節をしない

• 本機が動き出し、バランスを崩して転倒の原因となります。



荷物収納バスケットに10kg以上の重量物や大きな物を入れない

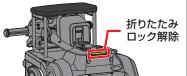
• 重量制限は10kgまでです。転倒や操作の障害になる恐れがありますので、重 量は超過しないように注意してください。

▲ 警告



本機を折りたたむときは、ゆっくりと折りたたむ

• 体重をかけて折りたたむと、勢いよく折りたたまれ、バランスを崩して転倒 の原因となります。



折りたたんだ状態で本機を持ち上げる場合は、折りたたみロック解除がロックされていることを確認する

・折りたたみロック解除がロックされていない状態で本機を持ち上げると、本 機の上体が起きてしまい、持ち運びグリップとバッテリー収納部に指を挟む 恐れがあります。

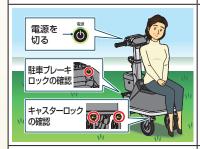


折りたたまれた状態から、上体を起こして(ハンドルをもとに戻して)使用する場合は、折りたたみロック解除が完全にロックされていることを確認する

正しくロックがされていないと、歩行中に折りたたまれるなどして、ケガの 原因となります。

本機の使用前には、折りたたみロック解除が正しくロックされていること を確認する

• 正しくロックされないまま使用すると、歩行中に本機が折りたたまれて転倒 の原因になります。



休憩用いすに座るときは電源を切り、前輪のキャスターロックおよび駐車 ブレーキがロックされていることを確認する

• 車輪がロックされていないと、着座時などに本機が動き思わぬ転倒をまねく 恐れがあります。



休憩用いすには、無理な姿勢で着座しない

• 着座時に本体にもたれかからないでください。バランスを崩して転倒する恐れがあります。

休憩用いすには勢いよく座らない

バランスを崩して転倒する恐れがあります。



休憩用いすの上に荷物や子どもを載せて運搬しない

・休憩用いすは、歩行を中断して休憩するために使用するものです。

休憩用いすの上に立ったり物を置いて使用しない

• 休憩用いすは、歩行を中断して休憩するために使用するものです。



ベンチなどに座った状態または休憩用いすから立ち上がるときに、ハンドルなどを支えにしない

転倒の恐れがあります。



本機の休憩用いすから立ち上がるときは足元に十分に注意する

転倒の恐れがあります。

安全上のご注意(つづき)

▲ 警告



バッテリー収納部の上に物を置かない

• 置いた物が倒れるなどの恐れがあります。また、過度な重量が加わるとバッテリー収納部が破損する恐れがあります。



雨天時の使用では、バッテリー収納部のふたがきちんと閉まっているか確かめる

・ 端子部に水滴がついた状態でバッテリー部分に触れると、感電の原因となります。



充電器は屋内で使用する

屋外など雨風にさらされると発煙・発火の恐れがあります。



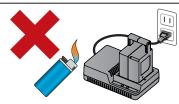
濡れたプラグや濡れた手で充電しない

・水分を拭き取っていない手で専用充電器のACコードのプラグを触ると感電する恐れがありますので、濡れたプラグや濡れた手をよく乾燥させたうえで充電してください。



充電器の上に物を置いたり布をかぶせたりしない

・充電器の温度が上がり、発煙・発火の恐れがあります。



充電中は火気に近づけない

・ バッテリーパックの充電中は、可燃性のガスが発生しており、火気に近づけると引火爆発する恐れがありますので、火気(ストーブ・たばこの火等)のある場所では充電しないでください。



改造しない

事故や本機の故障の原因となりますので、本機の改造は絶対に行わないでください。

▲ 注意



以下のような場合は使用をやめる

・ 気分のすぐれないとき、飲酒したときや薬を服用したときは使用しないでください。注意力が散漫になり、事故を引き起こす恐れがあります。



使用前はかならず各部を点検する

- 使用前には各部を点検してください。
- タイヤに摩耗がないか確認し、不具合があるときはかならず交換してからご使用ください。p.50の「点検について」をご覧ください。



駐車 | 慰ブレーキ | 。

駐車ブレーキがロックされている(レバーが上がっている)状態で歩行しない

・ロック状態での歩行は、ロック部分の破損の原因となります。ブレーキが破損したままの状態で、坂道において電源を「切」にすると、本機が動き出して 危険です。



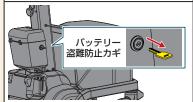
歩行前に前輪のキャスターロックが解除されていることを確認する

・ キャスターロックがロックされている状態で歩行すると、本機が思わぬ方向 に進む恐れがあり、危険です。



|歩行前にハンドル高さ固定ダイヤルが緩んでいないか確認する

ハンドル高さ固定ダイヤルがゆるんでいる状態で使用すると、歩行中に高さが変わり危険です。



バッテリー収納部のふたを閉め、カギを施錠し抜いてから、歩行する

・カギを施錠し抜いてから本機をご使用ください。また、カギを抜いた後に バッテリー収納部のふたが開かないことを確認してください。歩行中にバッ テリーが外れて急停止する恐れがあります。



歩行するとき、荷物収納バスケットにものを入れ過ぎない

ものを入れ過ぎると荷物収納バスケットが破損し、荷物の落下の原因になり、 危険です。



本機の積載重量を超えた状態で使用しない

・特に坂道では制動力が不足して転倒の原因になります。

安全上のご注意(つづき)

▲ 注意



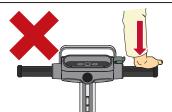
歩行中はよそ見せず周囲の環境に十分に注意する

・転倒や衝突の恐れがあります。



後進時、背面に注意する

・後ろに進む際は、背面および周りを確認してからゆっくりと進んでください。

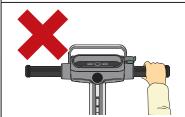


ハンドルを支えにして体重をかけない

・本機のセンサーが反応して本機が旋回する恐れがあり、危険です。

ハンドルの端に体重をかけない

ハンドル端部に過度に体重をかけると、本機が転倒したりハンドルが破損したりする恐れがありますので注意してください。



片手歩行しない

片手のみでハンドル操作をしながら歩行するとバランスを崩して転倒する恐れがあります。



ハンドルに荷物をかけない

・ 本機のセンサーが荷物を手と間違えて認識し、意図せず本機が動きだす恐れがあり、危険です。また、歩行中にバランスを崩して転倒の原因になります。



段差用ステップを勢いよく踏まない

・前輪が浮き、バランスを崩して転倒する原因になります。



本機に傘を積んだり、くくりつけたりしない

歩行中に傘が風を受けると、バランスを崩して転倒の原因になります。

▲ 注意



傾斜の大きい道を歩行しない

• 音声案内やエラーのLEDランプ点灯などによる警告が出る道は、事故防止のため歩行しないでください。 急な坂道では制動力が不足して転倒の原因になります。



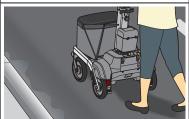
砂利道や段差、濡れた路面や凍結路面はなるべく歩行せず、歩行せざるを得ないときは十分に注意する

• バランスを崩して転倒する恐れがあります。



雪道の歩行は避ける

・雪で車輪が空回りして、本機が滑りだすことがあります。



かまぼこ状の道路での横流れに注意する

・一般的な道路はかまぼこ状(雨はけのため中央部が少し高くなっている)になっています。本機は、このような道で横流れを抑制する機能を備えていますが、車の往来がある場所では注意して歩行してください。



エスカレーターでは使用しない

降り口で前輪が引っかかるなど、バランスを崩して転倒の原因になります。



回転扉や自動ドアを歩行するときは、ドアへの挟み込みなどに注意する

挟み込まれると、ケガの原因となります。



電車の乗降のときは十分に注意する

・電車とホームに渡されたスロープの上でバランスを崩すと、転倒の原因になります。事故を防ぐために、駅の係員や介助者に協力を求めることをお勧めします。

安全上のご注意(つづき)

⚠ 注意



本機を持ち上げるときは、折りたたみロック解除がロックされていること を確認する

折りたたみロック解除がロックされていない状態で本機を持ち上げると、本 機が折りたたまれて、バランスを崩してしまう恐れがあります。

折りたたみロック解除が重くて解除できないときは、介助者などに協力を 求める

体重をかけて解除しようとすると、手が滑って転倒したり、カートが開いて 指を挟む恐れがあります。



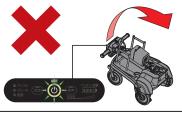
荷物収納バスケットに荷物を入れた状態で本機を折りたたまない

・荷物が入っているのに無理に本機を折りたたむと、バランスを崩して転倒の 原因になります。



本機を折りたたんだ状態で電源を「入」にしない

• 折りたたまれた本体を開くときに、本機が動きだして危険です。



本機の上体を起こすときは、電源を「入」にしない

電源が「入」の状態でハンドルを握ると、本機が動き転倒する恐れがありま す。



電源が「入」の状態で本機を折りたたんだり、持ち上げたりしない

• 本機が誤動作をし、タイヤが回転して危険です。



折りたたんだ本機の上体を起こす(ハンドルをもとに戻す)ときは、駐車ブ レーキがロックされていることを確認する

・ 駐車ブレーキが解除された状態で上体を起こす(ハンドルをもとに戻す)と、 本機が動き転倒する恐れがあります。



持ち運びグリップを持ったまま、折りたたんだ状態から上体を起こさない

・ハンドルとバッテリー収納部の間に指を挟み、ケガの原因となります。



持ち運び グリップ 折りたたみ

折りたたみロック解除のレバーと持ち運びグリップを間違えないように注 意する

間違えて折りたたみロックを解除すると、本機が折りたたまれ転倒する恐れ があります。

▲ 注意



駐車ブレーキのレバーと持ち運びグリップを間違えないように注意する

間違えて駐車ブレーキを解除すると、本機が動き転倒する恐れがあります。



本機の上体を起こすときは、倒れないように注意する

倒れるとケガの原因となります。



操作パネル裏部での指のケガに注意する

・ ハンドル高さ調節をするときに、操作パネル裏のへこみに指をかけて持ち上げると、指をケガする恐れがあります。



高さ調節のとき、操作パネル部とレールの突起部に指を挟まないように注意する

・ハンドル高さ固定ダイヤルをゆるめたとき、操作パネル・ハンドル部が急に 降りてこないように、かならず持ち運び取手を持ちながら調節してください。



本機を折りたたむとき、車体と荷物収納バスケットに手を挟まないように 注意する

• 勢いよく折りたたむと危険です。ゆっくり操作してください。



タイヤに手や衣服、靴、布などが巻き込まれないように注意する

- ・本機の使用中は、タイヤに触れないようにしてください。
- ・巻き込まれると、バランスを崩して転倒の原因となります。



タイヤにペットのリード(引き紐)が巻き込まれないように注意する

ペットの散歩などでは、リード(引き紐)のたるみに注意し、タイヤに巻き込まれないようにしてください。



本機に向けて放水しない

・放水や洗車は故障の原因になります。

安全上のご注意(つづき)

⚠ 注意



雨ざらしにしない

・水分が本機の内部に侵入すると、故障の原因となります。特に、本機を折りた たんだまま屋外に放置することはお止めください。雨水等が侵入し本機の故 障の原因となります。



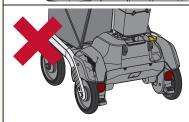
バッテリーパックを自動車の中など高温となる場所に放置しない

• 過熱によるバッテリーパックの故障の原因になります。



長期保管時は、バッテリー収納部内の主電源を「切」にする

・ バッテリーを充電することなく本機を3日以上使用しない場合は、バッテリーの消耗を防ぐためにバッテリー収納部内の主電源を「切」にしておいてください。



タイヤガードが破損した状態で使用しない

・破損部とタイヤなどの間に、布などが巻き込まれる恐れがあり、危険です。

❖ 交通ルールと基本マナー

本機は、高齢者や身体に障がいのある方が利用するロボットアシストウォーカーです。道路交通法 上、歩行者と同じ扱いになりますので、歩行者としての交通ルールを守り、他の歩行者に迷惑をか けない正しいマナーを身につけましょう。

注意



歩道を通行する

- ・ 歩道や歩行者専用道路を通行してください。 歩道のない道路では、自動車に 十分注意して、道路の右側を通行してください。
- 他の歩行者や自転車にも注意して通行しましょう。



横断歩道を渡る

- 歩行者の横断禁止場所は横断しないでください。かならず横断歩道や信号機 のある交差点を通行してください。
- 横断中は、横断する他の歩行者や自転車に注意して渡ってください。
- スクランブル交差点などの斜め横断可の横断歩道を除き、道路の斜め横断は しないでください。



交差点では一旦停止する

交差点の手前ではかならず一旦停止し、左右の安全をしっかり確認して、ゆっ くり進みましょう。また、自動車や自転車、バイクが近付いていないか、ある いは停止してくれたかを確認してから通行しましょう。



操作に慣れるまでは、公園など広く安全な場所で練習する

- 操作は前進から始め、左右折S字、方向転換、回転、後退などの操縦をしっか りと練習し、操作に慣れてください。
- 初めて歩道や歩行者専用道路に出るときは、かならず介助者と一緒に外出し、 安全な道路と道順を確認しながら歩行してください。
- 乱暴な操作はせず、他の歩行者や自転車、バイクで走っている人などの迷惑 にならない歩行を心がけましょう。





横断

青点滅



横断は 危険



赤点灯

横断禁止

信号を守る

- 信号機のある所では、信号が「青」になってから渡りましょう。点滅中なら次 の「青」まで待ってから渡りましょう。また、押しボタン 式の歩行者用信号機のある所では、ボタンを押し、信号が 「青」になったことを確認してから渡りましょう。
- 信号機のない所では、横断歩道か見通しの良い所を探し、 左右の安全をしっかり確認してから渡りましょう。



踏切では一旦停止する

- 踏切の手前ではかならず一旦停止し、左右の安全を確認してください。
- 踏切の警報機が鳴っているときに踏切内に侵入しないでください。
- ・線路に対して直角に進入し、線路の溝にタイヤを取られないように十分注意 してください。もし、踏切内で動かなくなったときは、近くに人がいる場合に は協力してもらい、すみやかに本機を線路外に移動させてください。万一、踏 切内から脱出できない最悪の事態に陥ったら、ただちに踏切のそばにある「非 常ボタン|を押してから線路外に退避してください。

その他注意事項

使用上のご注意

有寿命部品について

本製品には、有寿命部品(リチウムイオンバッテリー)が含まれています。有寿命部品の寿命は、使用頻度や使用環境(温湿度など)等の条件により異なります。

本製品の廃棄について

本製品を廃棄する際は、一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となります。不要となった本製品は裏表紙に記載のRT.ワークスサポートセンターへご相談いただくか、回収を行っている地方自治体の条例に従って処分してください。

で注意

- ・本製品を廃棄する場合は、各自治体の廃棄ルールに従っていただきますようお願いいたします。自治体によって規則が異なりますので、お客様がお住まいの各自治体にご確認ください。
- 本製品に付属のバッテリーパックはリチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーにはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する危険があります。リチウムイオンバッテリーはリサイクル可能な資源です。本製品を廃棄する場合は分解せず、裏表紙に記載のRT.ワークスサポートセンターまでお問い合わせください。

技術基準適合証明について

本製品は、電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合しています。

|比吸収率(SAR)について

本製品は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および国際ガイドラインに適合しています。

本機の仕様について

- 本機は使用中や充電中に温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 本機は屋外での使用を想定し設計されていますが、極端な高温や低温は避けてください。温度は0 $^{\circ}$ ~ 40 $^{\circ}$ 、湿度は20% $^{\circ}$ 80%の範囲内でご使用ください。直射日光の当たる場所や凍結が起こる場所に本機を長時間放置しないでください。
- 本機に強い磁気を近づけると誤動作や故障の原因となる可能性がありますので、磁気を帯びたものを近づけないでください。また、キャッシュカードやクレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがありますので、磁気カードなどを本機に近づけないでください。

専用充電器とACコードについてのお願い

- 思わぬ発熱、発火、機器の誤作動を招く恐れがありますので、湿気やほこり、振動の多い場所や、一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近くでは、充電をしないでください。
- 充電をする際は、周囲の温度が適正な場所 (0°) で行ってください。
- 充電中、ACコードが温かくなることがありますが、異常ではありませんので、そのままご使用ください。
- 故障の原因となりますので、強い衝撃を与えないでください。また、ACコードのプラグは変形させないでください。
- プラグ抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合は、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

かならずお守りください

- 滑りやすい地面でのご使用は避けてください。
- 暴風や豪雨などの悪天候で外出されるときは、転倒する恐れがありますので、本機のご使用は控えてください。
- 雷が発生しているときは、落雷の可能性が高くなる電柱や木などのそばを歩行しないでください。
- 本機を長時間ご使用にならないときは、ほこりが入らないようカバーなどをかけてください。
- 操作パネルやその周囲を押さえたり、負担がかかる状態で持ち運んだりしないでください。操作パネルが破損する恐れがあります。
- 操作パネルの表面は傷つきやすいので、工具などの金属や鉛筆、ボールペンなどの固いもので強く押したり、叩いたり、引っかいたりしないでください。傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

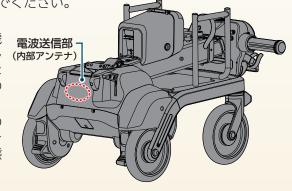
■ 本製品内部のアンテナ部分には、周囲5mm以内に近づかないでください。 (携帯電話と同等レベルの電波を発する機器が内蔵されています。)

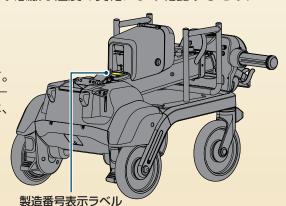
- 本製品は絶対に改造して使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。本製品のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となり、無効となった状態で使用した場合、電波法に抵触しますので、絶対に使用しないようお願いいたします。
- 故障、破損の原因となりますので、バッテリー盗難防止カギの施錠/解錠時、ACコードを専用充電器に接続する際やバッテリーパックの挿入時は、斜めに差し込んだり、差し込んだ状態のまま引っ張ったりしないでください。
- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多く の荷物が詰まった車のトランクに入れたり、最大積載量を超える荷物を荷物収納バスケットに詰め込んだ りすると、内部基板、バッテリーパックなどの破損や故障の原因となります。
- 本機の上体を起こす(ハンドルを戻す)ときやハンドルの高さ調節は確実に行ってください。
- 加齢などにより、屋内での移動が困難になったり、屋外でも短距離の移動が困難になった場合は、本機の使用は中止してください。また、本機の使用が適切かどうかを福祉用具専門相談員や作業療法士、理学療法士などの専門家に定期的にご相談ください。

■ 本製品をエアコンの吹き出し口の近くには置かないでください。急激な温度の変化により結露するため、 内部が腐食して故障の原因となります。

製造番号表示ラベルについて

■ この製品には、製造番号表示ラベルを本体に貼付しています。 製造番号表示ラベルは、本機を折りたたんだときの、バッテリー 収納部下に貼付しています。本機の折りたたみかたについては、 ▶ p.29 をご覧ください。

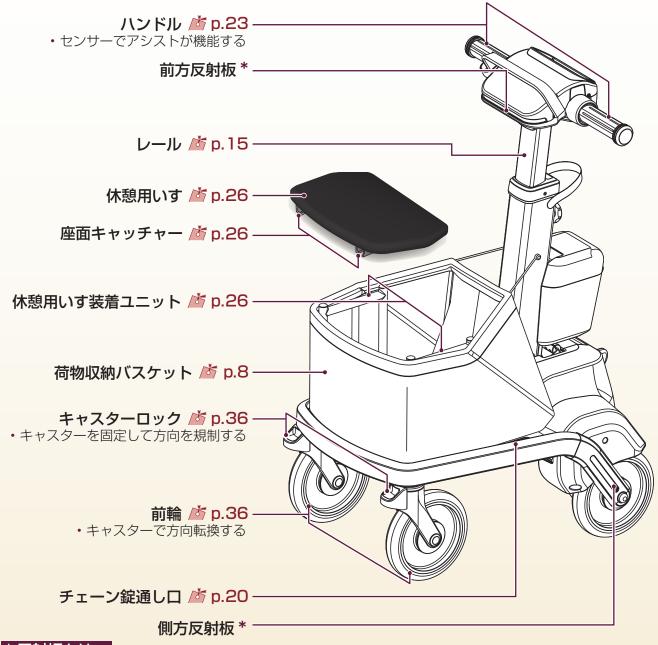




本機の機能と特徴

各部名称とはたらき

❖ 本体前面

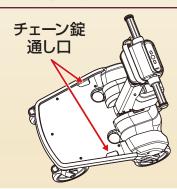


* 反射板とは…

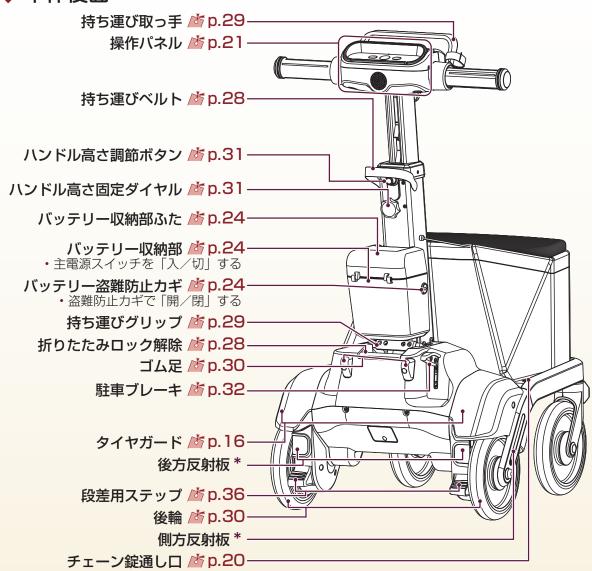
・夜間や悪天候時などで、自動車や自転車のライトに反射して、使用者の存在を相手に知らせるための器具です。

チェーン錠通し口

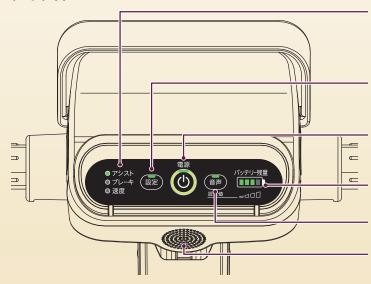
盗難防止のため、チェーン錠で施錠するときは、右図のチェーン錠通し□を使ってガードレールなどへくぐらせて通し、引っ張ってみて抜けないかどうか確認してください。



❖ 本体後面



❖ 操作パネル



状態表示部 / p.22

- アシスト設定の変更中に点滅する
- ・ブレーキ設定の変更中に点滅する
- ・速度設定の変更中に点滅する

設定ボタン 🏂 p.22

・2 秒以上押し続け、放すと簡易設定モードになる

電源ボタン / p.22

- ・本機の電源を「入/切」する
- 本機に異常があるときに点灯または点滅する

バッテリー残量 / p.22

• バッテリー残量を表示する

音声ボタン / p.22

・スピーカーからの音声出力を設定する

スピーカー 🏂 p.22

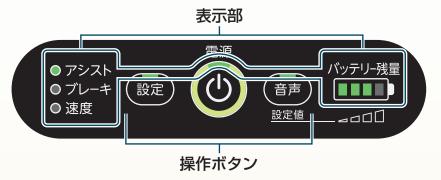
• さまざまな情報や、本機の異常を音声で案内する

本機の機能と特徴(つづき)

操作パネル/ハンドルについて

❖ 操作パネルでできること

操作パネルでは、本機をご使用いただく際に必要な操作や確認を行います。



表示部

アシスト	アシスト設定の変更中に点滅します。
ブレーキ	ブレーキ設定の変更中に点滅します。
速度	速度設定の変更中に点滅します。
バッテリー残量	現在のバッテリー残量を表示します。

操作ボタン

	本機の電源を「入/切」したいときに押します。
小電源	また、以下の操作を行うときにも押します。
∪ u m	• 本機が異常を検知したときにはたらく制動機能を解除したいとき。
	流れている音声をキャンセルしたいとき。
設定	簡易設定したい場合に2秒以上押します。
	・アシスト、ブレーキ、速度を4段階で設定できます。
	スピーカーからの音声出力を設定したいときに押します。
音声	• 押すたびに音量が大/中/小/消音に切り替わります。
日 产	通信機能を「入/切」 したいときに5秒以上押します。(ネットワーク機能対応品
	のみ)

ご注意

• [**○電源**]により、異常発生時の制動機能を解除するときは、本機が安全な状態であることが確認できるまでは[**○電源**]は絶対に押さないでください。

スピーカー

さまざまな案内を音声で行います。また、本機に異常があるときに使用者にお知らせします。

☆ ハンドルのはたらき

ハンドルを両手で握り、本機を前に押すと自動でアシストがはたらき、軽い力で進みます。

ハンドルを押すのをやめると、自動でアシストが止まります。

また、坂道での歩行においては、本機が地面の傾斜角を検知し、自動でアシストやブレーキがはたらき、上り坂や下り坂でも、安全で快適に歩行することができます。



お知らせ

本機は各センサーのはたらきにより、ハンドルを押すのをやめると、自動でアシストが止まります。また、 ハンドルから両手を放すか片手を放すと自動でブレーキがかかります。(詳細設定機能にて設定することで、片手を放した場合にブレーキがかからないようにすることもできます)

スリープ機能について

主電源と操作パネルの[**()電源**]が「入」のときに、本機を5分以上操作しない状態が続くと、節電のため自動的に電源をオフにします。その際、安全のため駐車ブレーキも自動でかかります。

再度使用する場合は[**心電源**]を押して電源をオンにしてください。駐車ブレーキのレバーが下がり、駐車ブレーキが自動で解除されます。

ご注意

- スリープモード中は、操作パネルのLEDランプはすべて消灯します。
- ・スリープモードの待機時間は、バッテリーパックの充電が「満」の状態で約3日間です。
- [**心電源**] が「切」の場合、駐車ブレーキを手動で解除しても、安全のために車輪の回転が重くなる設計がされています。

使用前のご準備

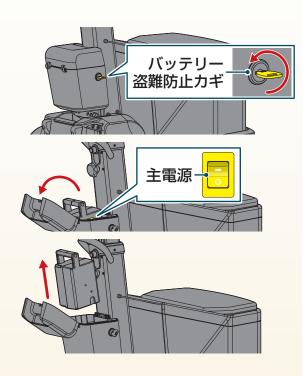
バッテリーパックの充電について

❖ 充電のしかた

本機から取り外したバッテリーパックを専用充電器に設置するだけで、かんたんに充電が行えます。本機を初めてご使用される前や、ご使用中にバッテリー残量が少なくなったときは、かならず充電してください。

バッテリーパックを本機から外す

- 付属のカギでバッテリー盗難防止カギ を解錠する
- ② バッテリー収納部のふたを開け、[○]を押して主電源を切る
 - ◆[○]の表示面が平らになっていれば、主電源が「切」になります。
- (3) バッテリーパックを取り外す
 - ◆取り外すときは、垂直に持ち上げてください。



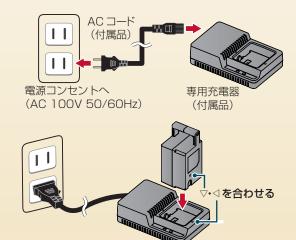
ご注意

- ・本機を屋外で保管する場合は、かならずバッテリー収納部のふたを閉めてください。雨水やほこりなどが バッテリー収納部に入ると本機の故障の原因となります。
- ・充電には、本製品に付属の据え置き型専用充電器を使用してください。

バッテリーパックを充電する

- (1) 専用充電器にACコードを接続する
- (2) 電源プラグを電源コンセントに挿入する
- ③ △印を合わせて、バッテリーパックを専用 充電器に取り付ける
 - ◆専用充電器のランプが赤で点灯し、バッテリーパックの 充電が開始されます。

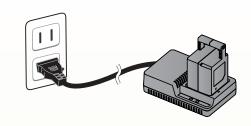




充電時間のめやす

操作パネルの「バッテリー残量」表示が ••••• (1目盛) になると、バッテリーパックを充電する必要があります。 満充電までにかかる充電時間はおよそ 2 時間です。

◆使用環境やバッテリーパックの状態によって充電時間は異なります。2時間充電しても「バッテリー残量」 「「p.22 が「満」にならない場合は、バッテリーの寿命が考えられます。バッテリーの交換については、裏表紙に記載のRT.ワークス サポートセンターまでご相談ください。

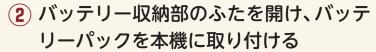


ご注意

- ・ 付属のバッテリーパックは約500回まで繰り返し充電できます。
- 付属のバッテリーパックはリチウムイオンバッテリーを使用しており、リサイクル可能な資源です。リチウムイオンバッテリーは誤った取り扱い、廃棄により爆発する危険があります。環境保全のため、不要になったバッテリーパックは、RT.ワークスサポートセンターまでお問い合わせいただくか、リサイクル協力店などにお持ちください。

バッテリーパックを本機に取り付ける

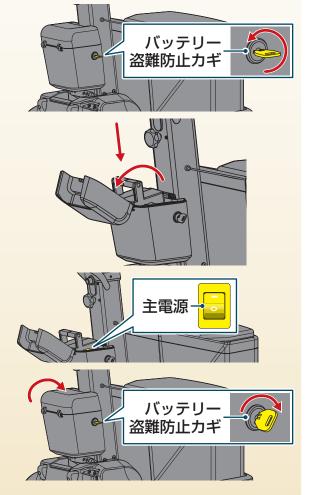
1 付属のカギでバッテリー盗難防止カギ を解錠する



◆バッテリーパックを取り付けるときは、バッテリーパック 上部の取っ手を本機に対して外側に向け、まっすぐ上から差し込んでください。(本機への装着時は、専用充電器で△印に合わせた向きとは180度逆方向になります。)

(3) [--]を押して、主電源を入れる

- ◆[一]の表示面が平らになっていれば、主電源が「入」になります。
- 4 バッテリー収納部のふたを閉め、バッテリー盗難防止カギを施錠する
 - ◆カギは止まったところでしか抜けません。故障の原因となりますので、強く回し過ぎないでください。



本機の構造について

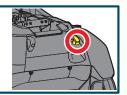
車体の構造を理解する

❖ 休憩用いすを取り外す

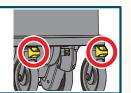
工場出荷時には、本機に休憩用いすが装着されています。必要に応じて、取り外したり取り付けたり してください。

- (1) 休憩用いすを取り外す前に、傾斜のない平らな場所を確保する
- (2) 操作パネルの電源ボタンが消灯していることを確認する
- 3 前輪のキャスターロックおよび駐車ブレーキがロックされていることを確認する

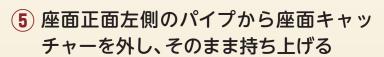
駐車ブレーキ ロックの確認



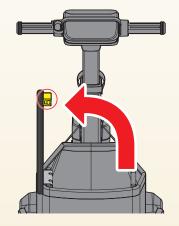
キャスター ロックの確認

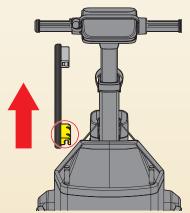


4 本機を正面から見て、装着ユニット右側 パイプから座面キャッチャーを外し、そ のまま持ち上げる



◆取り外したいすはなくさないよう注意してください。



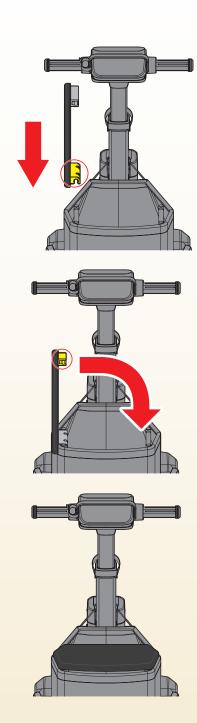


❖ 休憩用いすを取り付ける

1 本機を正面からみて、装着ユニット左側 のパイプに上から座面キャッチャーを 取り付ける

② 正面から見て右側に向かって座面を ゆっくり倒し、装着ユニット右側のパイ プに座面キャッチャーを取り付ける

3 座面が正しい位置にあるか、ガタつきが ないかを確認する

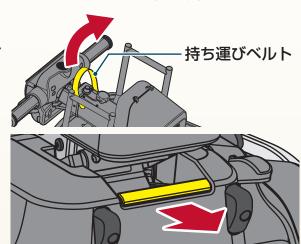


本機の構造について(つづき)

❖ 上体を起こす (ハンドルを立てる)

工場出荷時は本機のハンドルは折りたたまれています。本機をご使用になるには、上体を起こしてハンドルを立ててからご使用ください。このとき、指や衣服を挟まないようにご注意ください。

- (1) 本機の上体を起こす前に、傾斜のない平らな場所を確保する
 - ◆上体を起こす際、勾配が急な坂道や地面が滑りやすいところでないか確認してください。
- (2) 休憩用いすが装着されていれば、本機の装着ユニットから取り外す
- ③ 持ち運びベルトを持ち、ハンドルをゆっくりと手前に引きながら折りたたみロック解除のレバーを手前に引いて、ロックを解除する



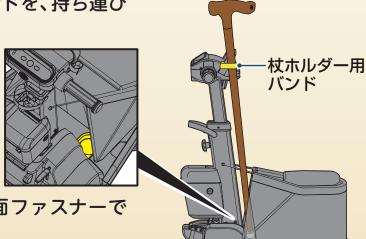
- 4 ロックがかかるところまでハンドルを引いて、もとの位置に戻す
 - ◆手順③で解除した折りたたみロック解除がロックされます。
 - ◆荷物収納バスケットも自動的に広がります。バスケット中央後方の面ファスナーを閉じてください。
 - ◆必要であれば、休憩用いすを本機に取り付けてください。

❖ 杖ホルダーに杖を差し込む

本機には杖ホルダー用バンドが付属しています。本機で歩行するときに使用しない杖を収める場合に便利です。

1 付属の杖ホルダー用バンドを、持ち運び 取っ手に装着する

② 杖ホルダー用バンドを 開き、杖を本機の上から くぼみに差し込む

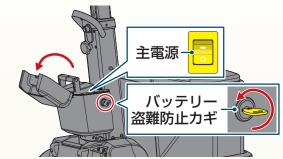


③ 杖ホルダー用バンドの面ファスナーで 杖を巻いて固定する

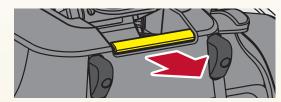
❖ 本機を折りたたむ

本機をご使用にならないときは、折りたたんで持ち運べる構造になっています。また車での移動時に、折りたたんでトランクや後部座席などに収納しておくこともできます。

- (1) 本機を折りたたむ前に、傾斜のない平らな場所を確保する
 - ◆折りたたむ作業を行う際、勾配が急な坂道や地面が滑りやすいところでないか確認してください。
- ② バッテリー収納部のカギを解錠し、ふた を開け、[○]を押して主電源を切る
 - ◆[○]の表示面が平らになっていれば、主電源が「切」になります。
- ③ ふたを閉め、カギを施錠する

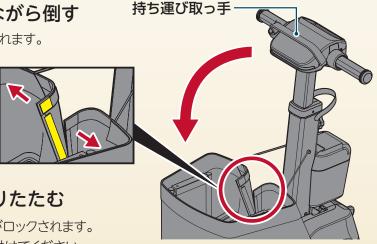


- (4) 休憩用いすが装着されていれば、本機の装着ユニットから取り外す
- (5) バスケット中央後方の面ファスナーを開ける
- **⑥** 折りたたみロック解除のレバーを手前 に引いて、ロックを解除する



7 持ち運び取っ手をしっかりと持ち、ハンドルをゆっくりと前方に押しながら倒す

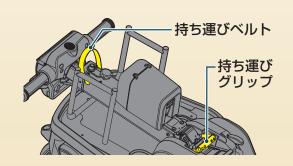
◆荷物収納バスケットも自動的に折りたたまれます。



- (8) ロックがかかるところまで折りたたむ
 - ◆手順⑥で解除した折りたたみロック解除がロックされます。
 - ◆必要であれば、休憩用いすを本機に取り付けてください。

ご注意

- ・ 折りたたんだ本機を持ち運ぶときは、持ち運びベルトと持ち 運びグリップを両手でしっかりと持ってください。
- 持ち運びグリップ付近の車体内部には、手や物を入れないでください。
- 本機を車のトランクや後部座席に入れて運ぶときは、安定性 を保つためにかならず水平にして置いてください。

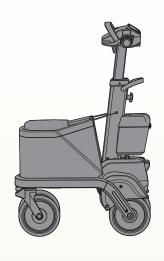


本機の構造について(つづき)

❖ 本機を保管する

本機をそのまま保管する

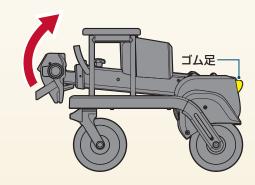
本機は走行可能な状態のまま保管することができます。



本機を立たせて保管する

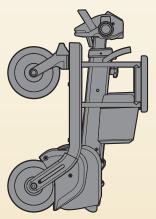
本機は立たせて保管することができます。ゴム足が地面に接地して自立する仕様ですので、タイルや鉄板などの滑りやすい場所は避け、木やコンクリートなどの材質でできた地面を選んでください。

- 新りたたんだ本機を立てる前に、傾斜のない平らな場所を確保する
 - ◆本機を立てる際、勾配が急な坂道や地面が滑りやすいところでないか確認してください。
- ② 持ち運び取っ手を持ち、後輪タイヤを支 点に、ゴム足が地面に接地するまで持ち 上げる



- **③** ぐらつきや転倒する恐れがないか確認 する
 - ◆本機を立てかけるときは、できるだけ本機の背面の支えとなる壁のあるような場所を選んでください。
 - ◆持ち運ぶときは、持ち運び取っ手と持ち運びベルトを手でしっかりと持ち、持ち運びを行ってください。





で注意

・ 地面や壁などが不安定な場所に本機を立てかけたり、本機に強い衝撃をあたえないでください。 転倒すると ケガをする恐れがあります。

❖ ハンドルの高さを調節する

ハンドルが低過ぎたり高過ぎたりすると歩行に差し支える原因となりますので、本機を使用する前に かならず適した高さに調節してください。

- (1) ハンドルの高さを調節する前に、傾斜のない平らな場所を確保する
 - ◆ハンドルの高さを調節する際、勾配が急な坂道や地面が滑りやすいところでないか確認してください。
- ② 操作パネルの (が消灯していること を確認する
 - ◆本機の電源が「入」のときは、[()電源]を押し、電源を 「切」にします。
- ③ ハンドル高さ固定ダイヤルを反時計(左)回り に回して、ハンドル高さ固定を解除する
 - ◆ダイヤルにてレールを固定しています。緩める際には数 周分回してしっかりと緩めてから、ハンドル高さの調節 を行ってください。
- 4 ハンドルの高さを上げ下げする

高さを上げる場合

持ち運び取っ手を持ち、ハンドル部を持 ち上げる

高さを下げる場合

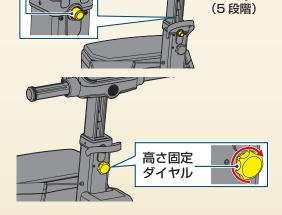
持ち運び取っ手を持ち、ハンドル高さ調 節ボタンを押す

- ◆押すたびに、ハンドルが1段下がります。
- ⑤ ハンドル高さ固定ダイヤルを時計(右) 回りに回して、ハンドル高さを固定する
 - ◆しっかりと締めて固定してください。

高さ固定ダイヤル持ち運び取っ手

(音声)

設定



5cm 刻み

ご注意

・本機をご使用されるかたが複数いる場合は、歩行前にかならず使用者に合わせたハンドルの高さ調節を 行ってからご使用ください。

٠.												
-	身長(cm)		135	140	145	150	155	160	165	170	175	180
	Λ	75										
	ンド	80										
ı	l.	85										
	ル高さ	90										
2	さ	95										

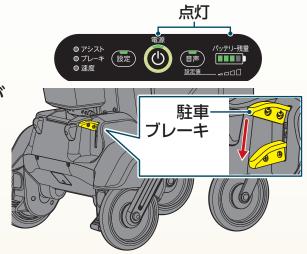
(ンドル高さ 調節ボタン

本機の構造について(つづき)

❖ 本機を起動する

電源を「入」にすると、自動的に駐車ブレーキが解除されます。

- (1) [()電源]を押し、本機の電源を入れる
 - ◆操作パネルの とバッテリー残量が点灯します。
- ② 自動でレバーが下がり、駐車ブレーキが 解除される



ご注意

本機は起動時に異常がないか自動診断します。 が点滅している間は、ハンドルに力をかけないようにしてください。

❖ 駐車ブレーキを手動で解除する

バッテリーパックを本機から外したときやバッテリー残量が空のときなど、駐車ブレーキのレバーは自動で動作しません。駐車ブレーキのレバーを下げ、駐車ブレーキを手動で解除してください。

(1) レバーを下げ、駐車ブレーキを解除する

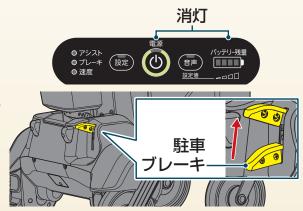


本機は、電源がオフのときは安全のために車輪にブレーキがかかり重たくなるよう設計されています。電源がオフのまま長距離歩行いただくことは困難ですので、お出かけ前にバッテリー残量が十分であることを確認してください。

❖ 本機を終了する

電源を「切」にすると、安全のため自動的に駐車ブレーキがかかります。

- (1) [()電源]を押して本機の電源を切る
 - ◆操作パネルの とバッテリー残量が消灯します。
- ② 自動で駐車ブレーキのレバーが上がり、 駐車ブレーキがかかる



ご注意

• 長時間使用しない場合は、バッテリー収納部内の主電源を切ってください。

操作のしかた

本機に歩行支援させる

❖ 歩行する

充電を完了させたバッテリーパックを本機に取り付け、電源を「入」にすると、ハンドルを握るだけで自動的に歩行支援を開始します。本機の操作に十分慣れるまでは、平らな地面で歩行する練習を行ってください。

また、本機の前輪にはキャスターが付いており、左折や右折したいときは、ハンドルを曲げるだけで曲がりたい方向に旋回します。

平らな地面を歩行する

- (1) [()電源]を押して本機の電源を入れる
 - ◆操作パネルの とバッテリー残量が点灯します。



本機は起動時に異常がないか自動診断します。

- が点滅している間は、ハンドルに力をかけないようにしてください。
- ② 両手でハンドルをしっかりと握り、進行 方向に向かってゆっくりと押しながら 歩行する
 - ◆ハンドルを前に押すと、自動でアシストが働き、軽い力で 進めます。

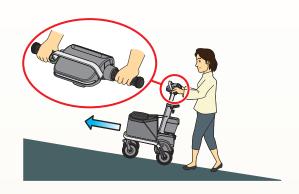


- (3) 曲がるときは、曲がりたい方向(左折・右折)にハンドルを曲げる
- (4) 停止するときは、ハンドルを押すのをやめ、ゆっくりと立ち止まる
 - ◆ハンドルを押すのをやめると、自動でアシストが止まります。

❖ 傾斜地での歩行について

上りの坂道で歩行する

- 1 ハンドルを両手でしっかりと握り、登坂 方向に向かってゆっくりと押しながら 歩行する
 - ◆センサーの働きにより、平地よりも強い力でアシストが働き、平地のように軽い力で進めます。



- (2) 停止するときは、ハンドルを押すのをやめ、ゆっくりと立ち止まる
 - ◆ハンドルを押すのをやめると、自動でアシストが止まります。

下りの坂道で歩行する

- 1 ハンドルを両手でしっかりと握り、下り 坂方向に向かってゆっくりと押しなが ら歩行する
 - ◆センサーの働きにより、自動でブレーキが働き、安全に 進めます。



- (2) 停止するときは、ハンドルを押すのをやめ、ゆっくりと立ち止まる
 - ◆ハンドルを押すのをやめると、自動でアシストが止まります。

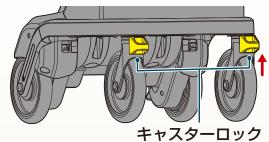
操作のしかた(つづき)

歩行支援をもっと活用する

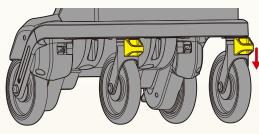
❖ 砂利道などの歩行

砂利道などの不整地では、前輪のキャスターが路面にとられ歩行しづらいため、以下の方法で進行 方向を固定することができます。

- 1 路面が砂利道になったら、キャスター ロックを上げる
 - ◆前輪のキャスターが固定されます。



- ② 路面が平地に戻ったら、キャスターロックを下げる
 - ◆前輪のキャスター固定が解除されます。



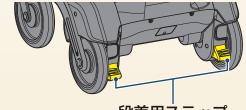
ご注意

キャスターロックを固定するときは、かならず左右両輪を固定して行ってください。

❖ 段差を乗り越える

本機で歩行しているときに、路面に段差があるところで前輪が引っかかり、うまく前に進めない場合は、段差用ステップを使って、車体前方を少し浮かして通過します。

- 1 前輪が引っかかる段差の手前で、段差用 ステップにつま先を当て、ハンドルを手 前に引き本機の前方を軽く浮かす
 - ◆慣れるまでは、ゆっくりと操作してください。



段差用ステップ

- (2) 車体前方を浮かせたまま、段差を通過する
- ③ 段差を通過したら、段差用ステップから つま先を外す
 - ◆段差用ステップからつま先を外すときは、ゆっくりと外してください。急に外すと思わぬ衝撃が加わりバランスを崩して転倒する可能性があります。
 - ◆段差乗り越えなど、前輪を一定以上の角度浮かした状態では、安全のため注意喚起の音声が流れます。段差を乗り越え前輪を地面につけて歩くか、電源ボタンを押す事で解除できます。



設定モードについて

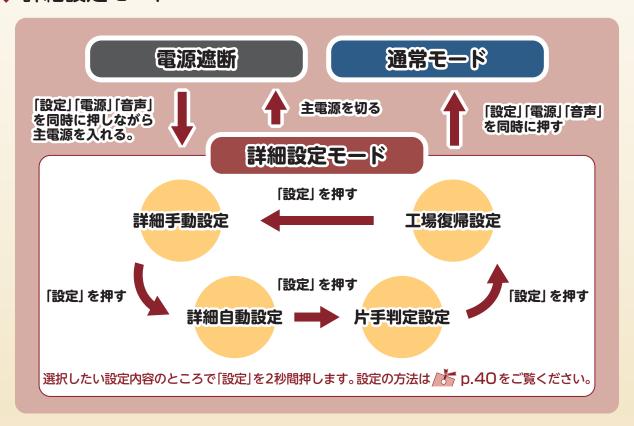
設定モードについて

本機では、簡易設定と詳細設定を用意しています。用途に合わせてお使いください。

❖ 簡易設定モード



❖ 詳細設定モード



簡易設定

簡易設定では、アシスト設定、ブレーキ設定、速度設定をお使いになる方の体力や筋力に合わせて、 それぞれ4段階で変更できます。

❖ 準備

主電源を入れておく

・バッテリー収納部内のスイッチ[-]の表示面が平らになっていれば、主電源が「入」になります。

電源を入れておく

操作パネルの[○電源]を押してください。

① 操作パネルの[設定]を2秒以上押し続け、放す

◆「簡易設定」モードになります。

(2) 「簡易設定」モード中に[設定]を短く押す

短く押すたびに簡易設置モードが「簡易アシスト設定」→「簡易ブレーキ設定」→「簡易速度設定」→「簡易アシスト設定」→…の順に切り換わります。

お知らせ

•「簡易設定」モード中はバッテリー残量を示すLEDが各設定の設定値を表しています。

簡易アシスト設定

操作パネルのアシストとバッテリー残量が点滅します。 簡易アシスト設定では、アシストの強さを4段階で設定できます。



簡易ブレーキ設定

操作パネルのブレーキとバッテリー残量が点滅します。 簡易ブレーキ設定では、下り坂でのブレーキの強さを4段階で設定できます。



簡易速度設定

操作パネルの速度とバッテリー残量が点滅します。 簡易速度設定では、制限速度を4段階で設定できます。



(3) それぞれの「簡易設定」モード中に操作パネルの[音声]を押す

- ◆押すたびにアシストカ、ブレーキカは1段階強く、制限速度は1段階速くなります。
- ◆4段階のときに「音声」を押すと1段階に戻ります。
- 1:
- 2:
- 3:
- 4:

(4) 「簡易設定」モード中に[設定]を2秒以上押し続け、放す

◆2③にて変更した設定を保存し、「通常」 モードに戻ります。

詳細設定

アシスト設定、ブレーキ設定、速度設定を自動または手動にて15段階で変更できたり、片手でハンドルに触れた場合に動作するかしないかを設定できたり、工場出荷時の設定に戻したりできます。

❖ 準備

主電源を切っておく

- ・ バッテリー収納部内のスイッチ[○]の表示面が平らになっていれば、主電源が「切」になります。
- (1) 操作パネルの[設定]、[電源]、[音声]を同時に押しながら、主電源を入れる
 - ◆バッテリー収納部内のスイッチ[-]の表示面が平らになっていれば、主電源が「入」になります。
 - ◆「詳細設定」 モードになります。
- (2) 「詳細設定」モード中に、「設定]を短く押す
 - ◆短く押すたびに詳細設定モードが「詳細手動設定」→「詳細自動設定」→「片手判定設定」→「工場出荷復帰」→「詳細手動設定」→…の順に切り換わります。

詳細手動設定

操作パネルのアシスト、ブレーキ、速度とバッテリー1が点灯します。



詳細自動設定

操作パネルのアシスト、ブレーキ、速度とバッテリー2が点灯します。



片手判定設定

操作パネルのアシスト、ブレーキ、速度とバッテリー3が点灯します



工場出荷復帰

操作パネルのアシスト、ブレーキ、速度が点灯します。



③ 設定モード中に[設定]を2秒以上押し続け、放す

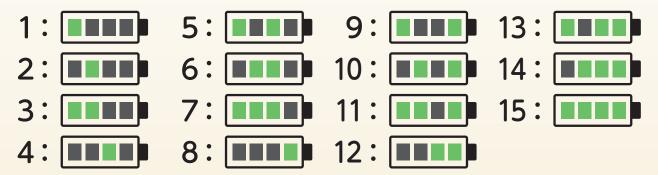
◆それぞれの設定変更モードになります。

詳細手動変更モード

操作パネルのアシストとバッテリー残量が点滅します。



- ・[設定]を短く押すと「詳細手動変更-アシスト」→「詳細手動変更-ブレーキ」→「詳細手動変更-速度」 →「詳細手動変更-アシスト」→…の順に切り換わります。そのたびに点滅しているLEDもアシスト ト→ブレーキ→速度→アシスト→…の順に切り換わります。
- ・[音声]を押すと、押すたびに設定が1段階強く/速くなります。第15段階のときに[音声]を押すと第1段階に戻ります。(1が一番力が弱く速度が遅く、15が一番力が強く速度が速い設定です。)



- ・[設定]を2秒以上押し続け、放すと、変更した値を保存し、「詳細手動設定」に戻ります。
 - ◆ 設定を保存したくない場合は、[設定]を長押しせずに[設定]、[電源]、[音声]を同時に押して通常モードに 戻るか、主電源を切ってください。

詳細自動変更モード

操作パネルのバッテリー残量が左から順に点灯します。

左から順に点灯 電源 ブレーキ 設定 速度 (ファシスト) (設定) (設定)

- ・音声案内が流れますので、その案内に従い10メートル歩行してください。 「アシストの自動調節を行います。普段の速度で10メートル押して歩いてください。」
- ・10メートル歩行すると次の音声案内が流れます。 「自動調整が終了しました。設定ボタンを2秒間押し続けてください。」
- ・[設定]を短く押すと、歩行結果を基に自動調節した値を確認できます。アシスト→ブレーキ→速度→アシスト→…の順に切り換わります。
- ・「設定」を2秒以上押し続け、放すと、自動調節した値を保存し、「詳細自動設定」に戻ります。
 - ◆ 設定を保存したくない場合は、[設定]を長押しせずに[設定]、[電源]、[音声]を同時に押して通常モードに 戻るか、主電源を切ってください。

片手判定変更モード

操作パネルのアシスト、ブレーキ、速度が点滅し、バッテリー残量もすべて点滅します。



・[音声]を押すたびにオン→オフ→オン→…を切り換えます。

オン: ハンドルから片手を放すとブレーキがかかります。

- ・「設定」を2秒以上押し続け、放すと、変更した値を保存し、「片手判定設定」に戻ります。
- ◆ 設定を保存したくない場合は、[設定]を長押しせずに[設定]、[電源]、[音声]を同時に押して通常モードに 戻るか、主電源を切ってください。

工場出荷変更モード

操作パネルのアシスト、ブレーキ、速度が点滅し、バッテリー残量もすべて点滅します。



- ・工場出荷変更モードになると、次の音声案内が流れます。 「すべての設定データを出荷時設定に戻す準備ができました。 出荷時設定に戻す場合は設定ボタンを2秒間押し続けてください。」
- ・[設定]を2秒以上押し続け、放すと、設定を初期化します。 次の音声案内が流れます。 「設定情報を出荷時設定に戻しました。主電源スイッチを一旦切ってください。」 主電源を切ってください。
 - ◆ 設定を初期化した場合、その後すべてのキー操作が無効となります。主電源を切ってください。
 - ◆ 初期化したくない場合は、[設定]を長押しせずに[設定]、[電源]、[音声]を同時に押して通常モードに戻るか、 主電源を切ってください。

(4) 「詳細設定」 モード中に[設定]、[電源]、[音声]を同時に押す

- ・「通常」モードに戻ります。
- ・工場出荷変更モード中に[設定]を長押し、設定が初期化された場合は、[設定]、[電源]、[音声]を同時押ししても通常モードに復帰しません。主電源を切ってください。

音声案内について

音声案内

❖ 通常の音声案内について

本機の電源を切るときなど、通常時には以下の音声案内が流れます。

種別	説明	音声
休憩提案	長時間歩行している場合に案内します。	長時間歩き続けています。休憩されてはいかがですか。
スリープイン	5分間無操作で自動電源オフする際 に案内します。	一定時間操作がされていないため、 電源をオフにします。
終了時案内	電源をオフにする時に歩行距離実績 値を案内します。	今回の歩行距離は○キロメートルで した。お疲れ様でした。
音量変更	音量切り替えの際に発声します。	機械音

❖ 通信機能利用時の音声案内について

通信機能利用時には、以下の音声案内が流れます。(ネットワーク機能対応品のみ)

種別	説明	音声
日付案内	今日の日付を案内します。	今日は○月○日○曜日です。
天候案内	今日または明日の天気を案内します。	今日/明日の天気予報は○○です。
警報案内	天候に関する警報が発令されている 場合に案内します。	○○警報が発令されています。
通信機能 オン/オフ	通信機能を「オン/オフ」する際に案 内します。	通信機能を有効/無効にしました。

通信機能を「有効/無効」するには

① [音声]を5秒以上押し続け、放す

◆ 「通信機能を有効/無効にしました」という音声案内が流れます。



ご注意

• 通信機能を利用するためには、あらかじめ「おさんぽケアサービス」の契約が必要になります。

❖ 警告音と異常をお知らせする音声案内について

本機が検知した異常の状態によって、スピーカーから出る警告音と音声による案内の内容は異なります。表にしたがって対応してください。それでも異常がみられるときは、使用を中止し、RT.ワークスサポートセンターにご相談ください。

❖ 異常が発生したときの音声案内と対応について

本機に異常が発生した場合は、内容によって対処法が異なります。

異常内容	表示部	音声	対応
歩行中に急斜面に さしかかったとき	⑤ 点灯	 ピポッ、急斜面です。注意して ください。 	本機は路面の傾斜角が10度以 下の平地でご使用ください。
バッテリー残量が 少なくなったとき	⑤ 点灯	ピポッ、バッテリーが少なく なっています。お早めに充電し てください。	バッテリーパックを充電して ください。
起動時にハンドル に力が加わってい たとき	⑤ 点灯	ピポッ、電源を入れるときは、ハ ンドルから手を放してください。	
転倒を感知したとき	点滅	ピポッ、転倒しています。	車体を起こした上で、『電源』を 押して通常動作に復帰させて ください。
前輪が地面から浮い ているとき	点滅	ピポッ、前のタイヤが地面から離れました。タイヤを地面に下ろして、歩いてください。	前輪を地面に下ろした上で、 『電源』を押して通常動作に復 帰させてください。

音声案内を消すには

(1) [音声]を押す

- ◆押すたびに音量が大/中/小/消音に切り替わります。
- ◆消音時は、操作パネルの が消灯します。



音声案内について(つづき)

緊急時の対処法

◆ 重大な異常が発生したときの対処

重大な異常が発生した場合は、本機の電源を「切」にする必要があります。

異常内容	表示部	音声	対応
故障検出時	点滅	ピーピーピー、故障を検知しました。主電源を切ってください。	主電源を切にしてください。 このとき、本機を移動させる
バッテリー残量が空に なったとき	点滅	ピポッ、バッテリーが無くなりました。主電源を切って、駐車ブレーキを解除し、安全なところに移動してください。	必要がある場合は、駐車ブレーキを手動で解除してください。
エラー検出時	点滅	ピポッ、エラーを検知しました。主電源を切って、入れ直してください。	
駐車ブレーキのエラー 検出時	点滅	ピポッ、駐車ブレーキが正常に 動作しませんでした。 主電源を 切って、入れ直してください。	主電源を切にして、入れ直してください。
バッテリー温度に異常 が発生したとき	点滅	ピポッ、バッテリーに不具合が 発生しています。主電源を切っ てください。	

ご注意

・ 重要度の高い異常時は音声が消音に設定されていても警告音を鳴動します。主電源を「切」にして、本機の状態を確認してください。主電源については、 p.24 をご覧ください。このとき、本機を移動させる必要がある場合は、駐車ブレーキを手動で解除してください。駐車ブレーキの手動解除については、 p.33 をご覧ください。

異常部分を確認する

異常確認時のポイント

❖ 故障かな?と思ったら

本機の使用中やバッテリーパックの充電時に異常が生じたときは、下表にしたがって点検してください。 それでも異常がみられるときは、使用を中止し、RT.ワークスサポートセンターにご相談ください。

症状	点検内容					
	■ 主電源が「入」になっていますか?					
電源が入らない	■ 電源は「入」になっていますか?					
	■ バッテリー残量が不足していませんか?					
	■ 電源は「入」になっていますか?					
	■ 誤操作ではありませんか?					
発進しない	■ ハンドルを押していますか?					
	■ 溝や段差で動かない状態になっていませんか?					
	■ 駐車ブレーキがかかっていませんか?					
旋回しづらい	■ キャスターロックをロックしたままになっていませんか?					
音量が小さい	■ 音量が「小」または「消音」に設定されていませんか?					
	■ バッテリー残量が不足していませんか?					
速度が出ない	■ アシスト設定が弱くなっていませんか?					
(アシストされない)	■ 荷物を積み過ぎていませんか?					
	■ 急な上り坂ではスピードが遅くなります。異常ではありません。					
	■ ハンドルは正しく握っていますか? / p.23					
速度が出ない	■ 速度設定が遅くなっていませんか?					
(ブレーキがかかる)	■ 下り坂ではブレーキがかかります。異常ではありません。					
	■ 急加速するとブレーキがかかります。異常ではありません。					
電源が切れる	■ 歩行中に「(電源」を押していませんか?					
电/// / / / / (3	■ 操作しないまま5分経過すると自動で電源をオフにします。故障ではありません。					
走行しなくなった	■ バッテリー残量が不足していませんか?					
た1」 ひゅくな ノた	■ 溝や段差で動かない状態になっていませんか?					
充電できない	■ バッテリーパックが寿命になっていませんか?					

定期的に点検する

点検について

❖ 使用前の点検と定期点検について

安全にご使用いただくために、下表にしたがって点検してください。 異常がある場合や定期点検については、裏表紙に記載のRT.ワークスサポートセンターまでご相談ください。

重要!!

- ・定期点検は、ご使用の頻度にかかわらず、ご使用後1ヶ月経過時、および6ヶ月毎に実施してください。
- ・長期間使用しなかった場合でも、かならず定期点検を実施してください。

点検項目	内容					
	■ 異常な音はありませんか?					
全 般	■ ボルトやナット、ネジのゆるみはありませんか?					
	■ 変形・損傷はありませんか?					
操作パネル	■ ボタンが正しく反応しますか?					
	■ 過度なガタやゆるみ、変形、ひび割れなどはありませんか?					
ハンドル	■ 曲げられる角度が異常に大きくなっていませんか?					
/\/\/\/\/	■ 手を放せば内蔵ブレーキにより確実に停止しますか?					
	■ 左右旋回などの操作はスムーズに行えますか?					
持ち運びベルト、 杖ホルダー用バンド	■ ベルトのほつれや損傷はありませんか?					
バッテリー盗難防止カギ	■ 正常に解錠・施錠できますか?					
バッテリーパック	■ 端子に汚れはありませんか?					
Ny)	■ バッテリー残量は2目盛以上点灯していますか?					
	■ 本機を起動するときや終了するときに、駐車ブレーキが自動で動作し					
駐車ブレーキ	ますか?					
	■ 駐車ブレーキが手動で動作できますか?					
 休憩用いす	■ 取り付け、取り外しが正しく行えますか?					
11 (12(1) 13 (· 3	■ 変形・損傷はありませんか?					
 荷物収納バスケット	■ バスケットのほつれや損傷はありませんか?					
	■ ワイヤーが切れていませんか?					
前輪	■ キャスターロックは正しく固定できますか?					
前輪・後輪	■ タイヤの角の丸みが無くなるなど、著しく磨耗していませんか?					
ハンドル高さ調整	■ ハンドル高さが固定できますか?					
折りたたみ	■ 本機を折りたたむ、上体を起こす(ハンドルを立てる)ことはできますか?					

ご注意

- ・点検するときは、かならず駐車ブレーキがロックされていることを確認してから行ってください。
- ・点検で取り外した付属品類は、かならず元の通りに取り付けてください。

保管場所について

故障や車体の損傷を防ぐため、直射日光や雨・露を受けない風通しの良い場所で保管してください。また、タイヤワックスの使用は避けてください。

重要!!

- 保管前にはかならず充電を行い満充電状態にしてください。
- 長期間保管する場合も、かならず 1 ヶ月に 1 回は充電してください。バッテリーは、保管中も自己放電によって電気が消耗しています。そのまま放置すると、バッテリー容量が回復しない場合があり、バッテリーパックの交換が必要となります。

で注意

- ・保管するときはかならずバッテリー盗難防止カギをかけ、カギは子どもの手の届かない所に保管してくだ さい。
- バッテリーパックが洪水などで水没した場合は使用せず、裏表紙に記載のRT.ワークス サポートセンターまでご相談ください。

お手入れについて

車体の汚れは、絞った濡れ布で拭き取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を使って拭き取り、その後乾いた布でよく拭き取ってください。また、タイヤワックスの使用は避けてください。

- 市販のクリーニングキットは故障の原因となりますので、使用しないでください。
- 操作パネル以外の汚れは、柔らかい布に水または、中性洗剤を含ませて軽く絞ってから、拭いてください。 洗剤やアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は避けてください。印刷が消えたり、色あせたりすることがあります。
- 操作パネルに水滴や汚れなどを付着したままにすると、表示面の変色やシミになったり、コーティングがはがれたりすることがあります。また、水分が内部へ侵入すると故障の原因になります。水滴などがついた場合はすぐに脱脂綿や柔らかいきれいな布(めがね拭きなど)で軽く拭き取ってください。
- バッテリーパックや専用充電器の端子部分は時々乾いた布や綿棒などで清掃してください。端子が汚れていると接触が悪くなり、充電不十分の原因となります。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

で注意

・ 故障や破損につながりますので車体に故意に水をかけたり、ガソリン・シンナー・ベンジン・ワックス等で 拭いたりしないでください。

仕様

製品本体

		ロボットアシストウォーカー RT.1					
	基本構造	4輪手押し車 15kg(煙準がNラリーパック装盖時)					
	総重量	15kg(標準バッテリーパック装着時)					
	使用時寸法	L601×W510×H819〜1,019mm (ハンドル高さ5段階調節可能)					
	折りたたみ時寸法	L487×W510×H714mm					
寸法	前輪	キャスタ:ø180mm×幅32mm					
	後輪	駆動輪:Ø180mm×幅32mm					
	折りたたみ時	全長:424mm × 全幅:510mm × 高さ:813mm (倒立時)					
	休憩用いす	座面高さ:49㎝					
環境条件	使用環境温度	0~40℃					
	荷物収納部	標準装備 (容積:12リットル:積載重量10kg)					
	杖ホルダー	標準装備					
ユーティリティ	反射板	標準装備 (前方・左右側方・後方)					
	施錠方式	バッテリー収納部・盗難防止ワイヤ孔					
	休憩用いす	標準装備 (最大使用者体重100kg)					
不整地歩行	段差踏破性能	(最大) 20mm					
	操作方法	ハンドル把握・押進					
Ī	駆動輪	後輪独立二輪駆動					
	モード(自動切替)	ハンドルを押す力に応じたアシスト					
アシスト機能		坂道角度に応じたアシスト・ブレーキ					
		下り坂でのブレーキ					
		速度/加速度制限によるブレーキ					
	実用登降坂性能	縦断・横断勾配18%(傾斜10度)					
	可搬質量	最大10kg					
アシスト性能	速度範囲	最大6.0km/h					
	連続動作時間	4時間(通常歩行・標準バッテリーパック使用時)					
78.71.7=1	形式	3相ブラスレスDCモータ					
アシストユニット	モータ定格出力	DC24V 30W×2(60W)					
生川毛が7井 355	電動駐車ブレーキ	後輪自動ロック(2輪同時、手動操作可)					
制動装置	電源オフブレーキ	モータによる後輪ブレーキ					
本体主	電源スイッチ	標準装備(バッテリー収納部)					
	電源入力	ボタン・LED(緑)					
	設定	ボタン・LED(緑)					
	音声	ボタン・LED(緑)					
操作パネル	バッテリー残量	LED(緑·4段階)					
採TFハイル	アシスト	LED(緑)					
	ブレーキ	LED(黄)					
	速度	LED(橙)					
	スピーカー	標準装備(音声案内専用)					

バッテリーパック/充電器

	種類	リチウムイオンバッテリー			
 バッテリーパック	容量	25.2V-2.1Ah			
N979-N99	質量	650g			
	サイクル寿命	500 □			
	形式	専用充電器(据え置き型)			
充電器	電源	AC100V 50/60Hz			
	充電時間	約2時間			

ネットワーク:ネットワーク機能対応品のみ

3G通信モジュール	NTTドコモ W-CDMA 800MHz, 2.1GHz			
GPS モジュール	自律測位			
提供サービス	おさんぽケアサービス (天気情報、日付情報、歩行履歴管理、見守り、異常通知など)			

アクセサリー

	バッテリーパック x1
	専用充電器 x1
	AC⊐−ド x1
	バッテリー盗難防止カギ x2
	杖ホルダー用バンド x2
付属品	休憩用いす(着脱式座面) x1
	カギ用ストラップ x1
	取扱説明書(本書)
	取扱説明書:おさんぽケアサービス編
	(ネットワーク機能対応品のみ)
	保証書兼ネットワーク認証IDのご案内

で注意

・仕様および外観は、改良のため予告なく内容変更することがあります。

RT.ワークス サポートセンター



受付時間 ※土・日・祝及びお盆・年末年始は除く

(月~金)9:00~17:00

※間違い電話が増えております。

電話番号をよくご確認いただいたうえでおかけいただきますようお願いいたします。

◆ ロボットアシストウォーカー RT.1 のアシスト制御設定機能

お使いになる方の体力や筋力に合わせて、アシスト制御の設定を変更することができます。

■ アシスト:アシストカの調整

■ ブレーキ:下り坂でのブレーキ強さ調整

■ 速度 :制限速度の調整

はじめてお使いの方へ

まずはそのままの設定でお試しください。

工場出荷状態では、RT.1のアシスト制御を体感していただきやすい設定となっています。

アシスト制御をもう少し強く(弱く)したい方へ

①簡易設定

アシスト設定、ブレーキ設定、速度設定をそれぞれ4段階で変更できます。 🏄 p.38

②詳細自動設定

10メートル歩行していただき、その歩き方を基に自動調節した設定に変更できます。 🖊 p.44

さらに細やかに設定したい方へ

③詳細手動設定

アシスト設定、ブレーキ設定、速度設定をそれぞれ15段階で変更できます。 / p.43

【簡易設定での初期値】

	1	2	3	4
アシスト			\bigcirc	
ブレーキ			\bigcirc	
速度				

【詳細設定での初期値】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
アシスト											\bigcirc				
ブレーキ										\bigcirc					
速度											\bigcirc				

弱/遅

強/速

弱/遅

RT.WORKS

製造元: RT.ワークス株式会社

〒537-0025 大阪府大阪市東成区中道1-10-26

http://www.rtworks.co.jp

